

令和6年度 秋田大学公開講座



# 英仏百年戦争の終結と 中世ヨーロッパ世界

英仏百年戦争（1337～1453年）はエドワード黒太子やジャンヌ・ダルク等の個性豊かな人物、ペストや教会大分裂といったカトリック世界を揺るがした事件に彩られる一方で、その終結とともに中世ヨーロッパという時代に終止符が打たれたといわれています。この戦争を“終息”という観点から考えてみたいと思います。



10月12日(土)

第1回

中世ヨーロッパの終焉  
：戦争の焦点

第2回

ボルドーの陥落  
：イングランド王の大陸領喪失

10月13日(日)

第3回

カトリック世界の防衛  
：十字軍のための英仏和平

第4回

イングランド人对フランス人  
：誰のための戦争だったのか



「フロワサル年代記」の写本挿絵 (British Library 所蔵)

時間：14:00～17:15

受講方法：オンライン  
(Web 会議システム「Zoom」による配信)

申込方法：本学ホームページ内の  
「公開講座お申し込み」フォームにて受付

※ 個人情報の取扱いについて  
この「公開講座お申し込み」フォームに記入された個人情報につきましては、  
本学が責任をもって管理し、公開講座に関する連絡以外には使用いたしません

対象：どなたでも

受講料：無料(要申込)

申込締切：10月6日(日)



講師

秋田大学教育文化学部 地域文化学科  
准教授 佐藤 猛



Akita University

秋田大学 地方創生・研究推進課

TEL：018-889-2270

秋田大学 HP：https://www.akita-u.ac.jp/honbu/

# 英仏百年戦争の終結と 中世ヨーロッパ世界

講師

秋田大学教育文化学部 地域文化学科 准教授 佐藤 猛

10月12日(土) 14時00分～17時15分	第1回	<p>中世ヨーロッパの終焉：戦争の焦点</p> <p>高校世界史の教科書では、フランドルの毛織物交易とともに仏王位継承権をめぐる百年戦争が始まったと書かれています。中世ヨーロッパ世界の特徴を背景として、当時の文書と記録に基づいて戦争の焦点を検討します。これにより、戦争終結を考えるための論点を明らかにします。</p>
	第2回	<p>ボルドーの陥落：イングランド王の大陸領喪失</p> <p>百年戦争は、1453年に英王の大陸領が北仏カレーのみとなって終結したとされます。しかし、この理解は、1453年以降、英大陸が増えることはなかったことから逆算した後知恵です。こうした研究上の理解も念頭に置きながら、大陸での軍事衝突の最終局面の裏側を考察したいと思います。</p>
10月13日(日) 14時00分～17時15分	第3回	<p>カトリック世界の防衛：十字軍のための英仏和平</p> <p>英王と仏王は、目前の戦闘での勝敗ばかりを考えていたわけではありませんでした。英仏間での休戦・和平交渉にも多くの時間が割られました。14世紀以降のオスマン帝国の拡大によって、イスラーム勢力がカトリック世界に迫ったことで、十字軍が要請されたことにより、英仏和平と戦争の終息が促されました。</p>
	第4回	<p>イングランド人对フランス人：誰のための戦争だったのか</p> <p>英王は公式には、自分が継承するはずであったフランス王位と王国の返還を求めて、戦争に入りました。それは王と王の戦いとして始まりましたが、その後、戦いは王国対王国さらに「イングランド人对フランス人」の戦いと表現されていきます。王と王の戦いが国民と国民の戦いになった時、戦争は終息に向かっていったと考えます。</p>

申込方法

- 本学ホームページ内の「公開講座お申し込み」フォームに必要事項を入力してください。
- 申込締切後、受講に関する案内メールを (shakoken@jimu.akita-u.ac.jp) からお送りします。迷惑メール設定等の受信環境のご確認をお願いします。

※ 個人情報の取扱について

この「公開講座お申し込み」フォームに記入された個人情報につきましては、本学が責任をもって管理し、公開講座に関する連絡以外には使用いたしません。

「公開講座のお申し込み」  
フォームはこちら

